

参加無料

# ウィメンズクリニック神野 主催 第31回 不妊相談会

体外受精、顕微授精で悩んでいる方のために

2023年

9月16日(土) 14:15~15:45

先着申し込み **48**名

\*参加希望の方は、お問合せ電話番号までご連絡ください。

お問い合わせ

月~金 (水は午前中のみ)

9:00AM~1:00PM

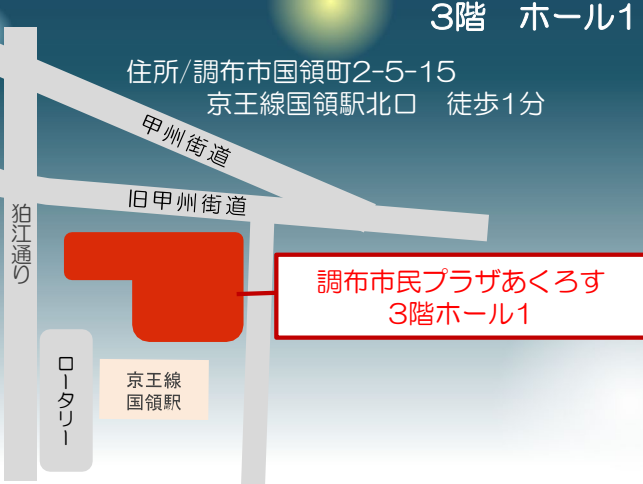
電話/042-480-3105

3:00PM~5:00PM

相談会後に個別でのご相談も可能です。  
申し込み先着8組まで順にお受けします。

場所 調布市民プラザ あくろす  
3階 ホール1

住所/調布市国領町2-5-15  
京王線国領駅北口 徒歩1分



不妊は増えており、現在5組に1組の御夫婦が不妊です。不妊増加の主原因は、晩婚化による卵子の老化と不健康な生活習慣です。さらに近年、卵巣が小さい女性(卵巣に残っている卵子が少ない卵巣予備力低下の女性)が急速に増えており、不妊はさらに深刻化しています。

私は40年間、高度生殖補助医療(体外受精、顕微授精など)の臨床と研究に没頭してきました。「好きこそものの上手なり」で、今では生殖補助医療がとても上手です。他院で何度も生殖補助医療を失敗した方、高齢の方、卵巣予備力低下の方など、多くの難治例が妊娠されております。

難治例を救える理由は、(1)様々な卵巣刺激法と卵巣予備力低下の新しい治療法を開発し、患者さん個々に応じた最適な卵巣刺激をしていること、(2)採卵、ラボ・ワーク、移植を通して、絶えず至高の技術を探求し続けていること、(3)生活習慣の改善で患者さんを健康にし、より良い卵子と精子にすることであります。そして「何とか妊娠してもらいたい」と強く願う、当院スタッフの厚い情熱こそがこれらを可能としております。

2022年4月より保険診療による生殖補助医療が開始され、当院でも順調に妊娠しておられます。保険は自費に比べ安価で、生殖補助医療が受けやすくなり、良いことです。半面、認められる医療には制限があり、何でもできる訳ではありません。38歳以上の方、AMH値2未満のような卵巣予備力低下例、反復不成功例などの重症の方では、安易に失敗を繰り返し、結果、大切な時を失い最終的に挙児を諦めることもあります。患者さんの状況に応じ、臨機応変に保険か自費かを使い分けるのが肝要です。

患者さんを健康にし、各個人に応じた最適な卵巣刺激を行い、最高の技術で生殖補助医療を行うことで、妊娠不可能が可能となるのです。この相談会では、なぜ不妊となるのか、自分たちですべきことは何か、保険の実情、そして至高の高度生殖補助医療とは何かを解説します。私の知識と経験と情熱が少しでも皆様の幸せにつながれば幸いです。

## 講演者

ウィメンズクリニック神野

<https://xs132599.xsrv.jp/>

院長 神野 正雄



### 略歴

1980年  
1983年  
1985年  
1986年~88年  
1990年  
1991年~04年  
1998年  
2002年

2011年 9月  
2018年 1月  
2022年 7月

慶應義塾大学医学部卒業  
同大学院入学、体外受精を開始  
日本最初の体外受精による双胎妊娠に成功  
米国 Eastern Virginia Medical School に留学  
Charles Thibault Honorary Lectureship を受賞  
杏林大学医学部産婦人科で講師そして准教授  
世界体外受精会議記念賞を受賞  
ウィメンズクリニック神野院長  
(国領駅前開業)  
世界体外受精会議記念賞 2度目の受賞  
ウィメンズクリニック神野生殖医療センター開設  
世界体外受精会議記念賞 3度目の受賞

### 専門医・資格

医学博士(慶應義塾大学、甲)  
日本産科婦人科学会および日本専門医機構 産婦人科専門医  
日本生殖医学会 生殖医療専門医および指導医  
日本受精着床学会 評議員  
日本抗加齢医学会 評議員

東京都特定不妊治療費助成事業 指定医療機関  
不妊に悩む方への特定治療支援事業 指定医療機関  
(保険診療で生殖補助医療を行える施設)